

だい じ ひろしまけんしょうがいしゃ
第4次広島県障害者プラン

ひろしまけんしょうがいしゃけいかく
(広島県障害者計画)

へいせい ねんど へいせい ねんど
平成31 (2019) 年度～平成35 (2023) 年度

がいようばん
【概要版】

そあん
(素案)

へいせい () ねん がつ
平成 () 年 月



ひろしまけん
広島県

プランを作る理由

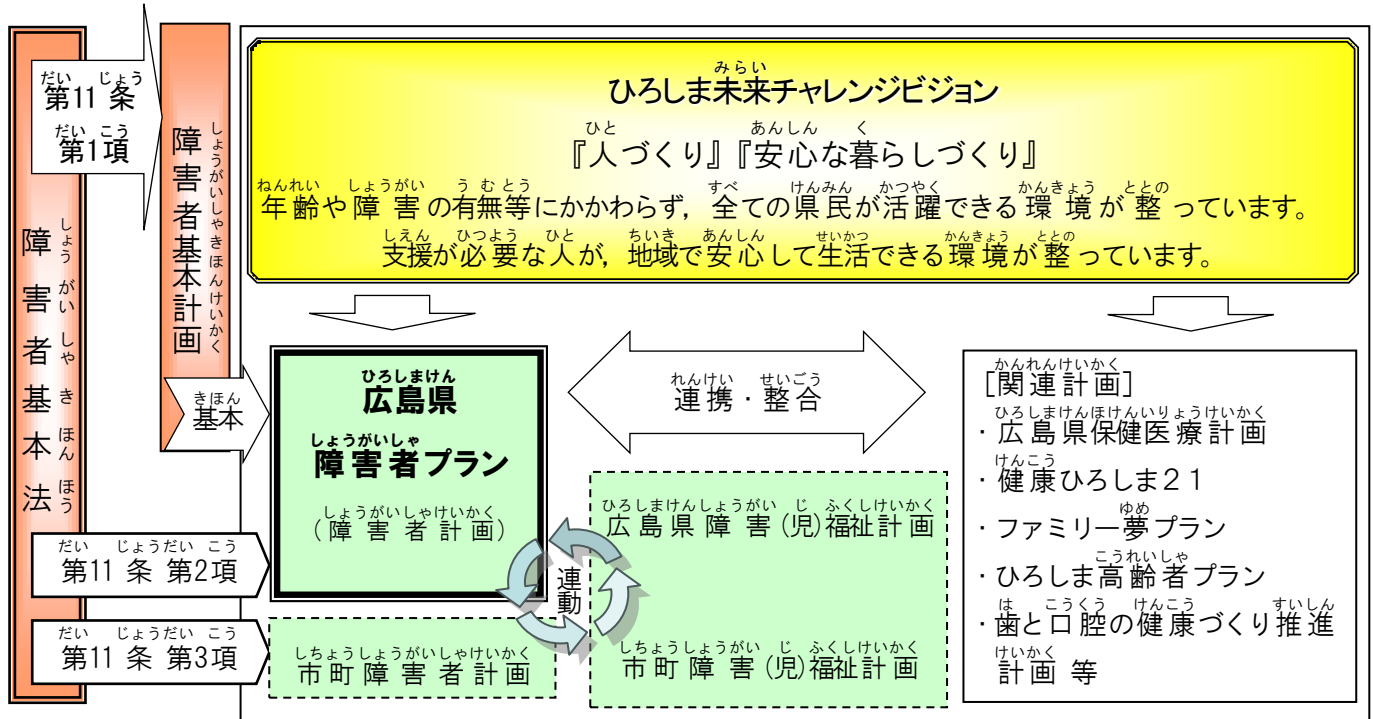
広島県障害者プランは、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる「人づくり」、「安心な暮らしづくり」の実現に向けて、障害者基本法に基づく国の「障害者基本計画」を基本にしつつ、広島県の障害者施策を総合的かつ長期的な視点で推進していくために作っています。

前のプランの計画期間が、平成30（2018）年度で終わることとなるため、新しく作り直します。

ほかの計画との関係

このプランは、「広島県障害福祉計画・広島県障害児福祉計画」のほか、「広島県保健医療計画」、「健康ひろしま21」、「ひろしまファミリー夢プラン」や「ひろしま高齢者プラン」等の関連する計画との連携・整合を図り、広島県の障害者関連施策全体の調和を保って推進します。

特に、「広島県障害福祉計画・広島県障害児福祉計画」については、障害福祉サービス及び障害児通所支援等の必要見込量やその提供体制の確保のための方策を定めるものであり、このプランの生活支援に関する実施計画として一体的に推進します。



計画期間

平成31（2019）年度から平成35（2023）年度までの5年間の計画とします。

なお、社会経済情勢や国の障害者保健福祉制度の改革、広島県の障害者施策を取り巻く状況の変化等を踏まえ、必要があると認めたときは見直しを行います。

きほんりねん
【基本理念】

すべての県民が障害の有無にかかわらず、広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思え、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会の実現

めざ すがた
【目指すべき姿①】

障害の有無にかかわらず、誰もがお互いを大切にし、認め支え合い、生きがいを持って暮らせる「共生社会」の実現

めざ すがた
【目指すべき姿②】

障害の有無にかかわらず、誰もが身近な地域で安心して生活ができる環境を整えることによる県民生活の質（QOL）の向上

とく
どうやって取り組む

- 広島県や市町だけでなく、障害のある人を見守ってくれるみなさんなど、いろいろな組織や人と、基本原則に留意しながら、協力して取り組む必要があります。
- 毎年、広島県障害者施策推進協議会で、目標どおりできているかなど取組状況を点検します。

きほんげんそく
【基本原則】

① 地域社会における共生等（障害者基本法第3条）

- 全て障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること。
- 全て障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと。
- 全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること。

② 差別の禁止（障害者基本法第4条）

- 障害者の活動を制限し、社会への参加を制約する、障害を理由とする差別その他の権利利益を侵害する行為が禁止されなければならないこと。
- 障害のある者が日常生活又は社会生活を営む上での制約となっている社会的障壁については、その除去を必要としている障害者が現に存在し、かつ、その実施に伴う負担が過重でない場合は、それを怠ることによって障害を理由とする差別その他の権利利益の侵害が生じないよう、その除去の実施について必要かつ合理的な配慮がされなければならないこと。

ぶんや だいこうもく 分野 (大項目)	ちゅうこうもく 中項目	しょうこうもく 小項目
1 しょうがい 障害への りかい きょうどう 理解と協働 によるきょうせい 共生	① しょうがい たいするりかい 障害に対する理解の そくしん 促進	(1) こどもせだい りかいそくしん 子供世代からの理解促進
		(2) こうほう けいはつかつどう てんかい 広報・啓発活動の展開
		(3) こうりゅうかつどう すいしん 交流活動の推進
	② あいサポートプロジェクトの推進 すいしん	(1) しょうがいしゃだんたい きょうどう 障害者団体との協働
	③ かくしゅだんたい きょうどう 各種団体との協働の そくしん 促進	(2) えぬびーおー とう きょうどう NPO, ボランティア等との協働
	④ けんりようご すいしん 権利擁護の推進	(1) しょうがいしゃぎやくたい ぼうし 障害者虐待の防止
		(2) けんりようご すいしん 権利擁護の推進
		(3) せんきょうとう はいりよ 選挙等における配慮
2 じりつ しゃかい 自立と社会 さんか そくしん 参加の促進に よるきょうせい 共生	① きょういく 教育	(1) しゅうがくそうだんしえんたいせい かくりつ 就学相談支援体制の確立
		(2) よう しょう ちゅう こうとうがっこうとう しえんたいせい せいび 幼・小・中・高等学校等の支援体制の整備
		(3) きょうしよくいんとう せんもんせい こうじょう 教職員等の専門性の向上
		(4) とくべつしえんがっこう じゅうじつ 特別支援学校の充実
		(5) しょうがい つう たよう がくしゅうかつどう じゅうじつ 生涯を通じた多様な学習活動の充実
	② こよう しゅうろう そくしん 雇用・就労の促進	(1) きぎょうとう りかいそくしん 企業等の理解促進
		(2) しゅうぎょうきかい かくじゅう こようそくしん 就業機会の拡充と雇用促進
		(3) こうちんこうじょう とりくみ 工賃向上のための取組
		(4) しよくぎょうのうりよくかいはつ じゅうじつ 職業能力開発の充実
	③ じょうほう ほしょう きょうか 情報の保障の強化	(1) じょうほう か すいしん 情報バリアフリー化の推進
		(2) いしそつうしえん じゅうじつ 意思疎通支援の充実
	④ ぶんかげいじゆつ スポーツ, 文化芸術 かつどう すいしん 活動の推進	(1) しょうがいしゃ すいしん 障害者スポーツの推進
		(2) ぶんか げいじゆつ よか かつどう じゅうじつ 文化・芸術・余暇活動の充実

ぶんや だいこうもく 分野 (大項目)	ちゅうこうもく 中項目	しょうこうもく 小項目	
3 ほけん いりよう 保健, 医療 の充実	① ほけん いりようていきょうたいせい 保健・医療提供体制の 充実	ほけんかつどう すいしん (1) 保健活動の推進	
		しつぺいどう よぼう ちりょうたいせい じゅうじつ (2) 疾病等の予防・治療体制の充実	
		せんもんでき いりよう ていきょう (3) 専門的な医療の提供	
		ちいき すいしん (4) 地域リハビリテーションの推進	
	② りょういくたいせい じゅうじつ 療育体制の充実		
	③ いりよう ふくし れんけい 医療と福祉の連携	ちいきせいかつ いこうしえん (1) 地域生活への移行支援	
		こうれいき ちいきほうかつ きょうか (2) 高齢期における地域包括ケアシステムの強化	
	④ いりようていき じしえんたいせい 医療的ケア児支援体制 の整備	いりよう ふくししえんたいせい (1) 医療・福祉支援体制	
		せいじんきこう む しえんたいせい (2) 成人期移行に向けた支援体制	
		さいがいほつせいじ いりようしえんたいせい (3) 災害発生時の医療支援体制	
4 ちいきせいかつ 地域生活の 支援体制の 構築	① ふくし どう ていきょう 福祉サービス等の提供	ちいきせいかつしえんきよてんとう せいび (1) 地域生活支援拠点等 (システム) の整備	
		ほうもんけい かくほ (2) 訪問系のサービスの確保	
		にっちゅうかつどう ば じゅうじつ (3) 日中活動の場の充実	
		ちいきせいかつ ささ どう (4) 地域生活を支えるサービス等	
	② す まい ば かくほ 住まいの場の確保	きょじゅうけい きばん せいび (1) 居住系のサービス基盤の整備	
		じゅうたく かくほ (2) 住宅の確保	
	③ そうだんしえんたいせい こうちく 相談支援体制の構築	みちか ちいき そうだん (1) 身近な地域における相談	
		せんもんでき こういきてき そうだんしえん (2) 専門的・広域的な相談支援	
	④ サービスの質の向上等	しつ かくほ (1) 質の確保	
		じんざい いくせい かくほ (2) 人材の育成・確保	
	5 くらしやす い社会づくり	① バリアフリーの推進	ふくし すいしん (1) 福祉のまちづくりの推進
			こうきょうてきしせつどう か すいしん (2) 公共的施設等のバリアフリー化の推進
こうきょうこうつうきかんどう か すいしん (3) 公共交通機関等のバリアフリー化の推進			
② ぼうさいたいさく きょうか 防災対策の強化			
③ ぼうはん こうつうあんぜんとう 防犯・交通安全等の 推進		ぼうはんたいさく すいしん (1) 防犯対策の推進	
		こうつうあんぜんたいさく すいしん (2) 交通安全対策の推進	
		しゅわ けいさつしよくいん いくせい (3) 手話のできる警察職員の育成	
		しょうひしゃひがい ぼうし (4) 消費者被害の防止	
④ けんきゅう かいはつ すいしん ふきゅう 研究・開発の推進と普及			
⑤ ユニバーサルデザインの推進			

分野1 障害への理解と協働による共生

「心のバリアフリー」に向けた子供世代からの理解の推進と出会い・つながりを促進します。

- 学校における交流及び共同学習等を推進します。
- 子供から高齢者まで全ての年齢層によるオール「あいサポーター」の構築に取り組みます。

項目	現状(平成29(2017)年度)	目標値(平成35(2023)年度)
障害のある人が困っているときに、手助けをしたことがある人の割合	61.8 % [平成29年8月内閣府世論調査]	70.0 % [県独自調査]
あいサポーター数	184,193人	215,000人
あいサポートリーダー養成数	376人	730人
あいサポート運動企業・団体数	611企業・団体	900企業・団体
あいサポートアート展への来場者数	2,511人	3,400人

分野2 自立と社会参加の促進による共生

《教育》

多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ります。

- 障害の状態等に応じた個別の指導計画等の作成を促進します。
- 特別支援学校のセンター的機能の充実を図ります。
- 市町の中核的な役割を担う人材の養成に取り組みます。
- ICT機器を活用した指導事例の普及を促進します。

項目	現状(平成29(2017)年度)	目標値(平成35(2023)年度)
特別支援教育に関する個別の教育支援計画作成率(公立幼小中高)	42.8 %	100.0 % [平成32年度]

こよう しゅうろう そくしん
《雇用・就労の促進》

たよう はたら かた じつげんとう こようきかい かくだい はか
多様な働き方の実現等による雇用機会の拡大を図ります。

- しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつしえん こよう ほけんふくし きょういくとうかんけいきかん れんけいきょうか
 障害者就業・生活支援センターの雇用、保健福祉、教育等関係機関との連携強化によ
 いっぱんしゅうろう しょくばていちやく む しえんたいせい せいび
 る一般就労や職場定着に向けた支援体制を整備します。
- のうふくれんけい すいしん
 「農福連携」を推進します。
- どうにゆう ざいたくしゅうぎょうとう ふきゅう すいしん
 テレワークの導入による在宅就業等の普及を推進します。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状(平成29(2017)年度)	もくひょうち へいせい ねんど 目標値(平成35(2023)年度)
しょうがいしゃこようぎむ ゆう けんないきぎょう 障害者雇用義務を有する県内企業で こよう しょうがいしゃ じつにんずう 雇用される障害者の実人数	8,594人	10,200人
しょうがいしゃこようぎむ ゆう けんないきぎょう 障害者雇用義務を有する県内企業のう しょうがいしゃこよう かず にん きぎょうわりあい ち障害者雇用の数が0人の企業割合	29.5 %	げんじょう げん 現状より減
ふくし しせつ りようしゃ ねんかん いっぱん しゅうろう 福祉施設利用者の年間一般就労 いこうしゃすう 移行者数	357人	517人 [平成32年度]

じょうほうほしょう きょうか
《情報保障の強化》

あいしーていー しんてん ふ じょうほうほしょう じゅうじつ はか
ICTの進展を踏まえた情報保障の充実を図ります。

- さいしんじょうほう ほんえい こうしゅうとう じっし
 最新情報を反映した講習等を実施します。
- いしそつうしえんとう ていきょうたいせい じゅうじつ はか
 意思疎通支援等の提供体制の充実を図ります。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状(平成29(2017)年度)	もくひょうち へいせい ねんど 目標値(平成35(2023)年度)
ひろしまけんちようかくしょうがいしゃ 広島県聴覚障害者センターの りようしゃすう 利用者数	12,623人	13,500人

ぶんかげいじゅつかつどう すいしん
《スポーツ、文化芸術活動の推進》

ねんとうきょう けいき しょうがいしゃ ぶんかげいじゅつかつどう すいしん
**2020年東京パラリンピックを契機に、障害者スポーツや文化芸術活動を推進し
 ます。**

- いっぱんしゃだんほうじんひろしまけんしょうがいしゃ きょうかい じっし すその かくだい きょうぎりよく こうじょう
 一般社団法人広島県障害者スポーツ協会が実施する裾野の拡大から競技力の向上まで
 いっかん とりくみ しえん
 の一貫した取組を支援します。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状(平成29(2017)年度)	もくひょうち へいせい ねんど 目標値(平成35(2023)年度)
しょうがいしゃ しどうしゃすう 障害者スポーツの指導者数	653人	923人
ぜんこくしょうがいしゃ たいかい 全国障害者スポーツ大会メダル かくとくりつ 獲得率	62.3 %	65.0 %

ぶんや ほんけん いりょう じゅうじつ
分野3 保健医療の充実

ざいたく いりょうてき じ しえん と く
在宅の医療的ケア児への支援に取り組みます。

- 県立医療型障害児入所施設の整備（わかば療育園の移転、若草園、若草療育園の改修）等による在宅支援機能の強化に取り組みます。
- 医療機関等を活用した短期入所の定員数を増やします。
- 医療的ケア児に対する支援を総合調整するコーディネーターの養成に取り組みます。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状（平成29(2017)年度）	もくひょうち へいせい ねんど 目標値（平成35(2023)年度）
いりょうがたたんきにゆうしよじぎょう ていいんすう 医療型短期入所事業の定員数	43人 [平成30年4月]	88人 [平成33年度]

「空床型」施設等による病床確保数を含む。

ぶんや ちいきせいかつ しえんたいせい こうちく
分野4 地域生活の支援体制の構築

びょういん ふくしせつ ちいきせいかつ いこう すいしん
病院や福祉施設からの地域生活への移行を推進します。

- 地域生活支援拠点等（システム）整備に向け、アドバイザー派遣を行うなど、市町の地域共生社会の実現に向けた体制づくりを支援します。
- 共生型サービスの参入促進による事業者の確保に取り組みます。
- 補助金の優先採択など、グループホームの整備や重度化・高齢化に対応したサービスへの参入促進を図ります。
- 相談支援従事者に対する研修カリキュラムの充実及び計画的な指導者養成に取り組みます。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状（平成29(2017)年度）	もくひょうち へいせい ねんど 目標値（平成35(2023)年度）
ふくしせつ にゆうしよしや ちいきせいかつ 福祉施設の入所者の地域生活への いこうしやすう 移行者数	159人 [平成26～29年度累計]	300人 [平成31～35年度累計]
きょうどうせいかつえんじよ りようしやすう 共同生活援助の利用者数	2,028人/月	2,366人/月 [平成32年度]
そうだん しえん じゅうじしや しよにんしや けんしゅう 相談支援従事者 初任者 研修の しゅうりようしやすう 修了者数	7,043人	10,200人

ぶんや く しゃかい
分野5 暮らしやすい社会づくり

ぼうさいたいさく きょうか と く
防災対策の強化に取り組みます。

- 市町における避難行動要支援者の個別計画の策定・見直しを支援します。
- 他の市町における地域コミュニティとの協働事例の情報共有等、市町の避難支援者の確保に向けた取組を支援します。
- 要配慮者がいる家族も含め、県民の避難行動を調査・分析し、より効果の高い被害防止策を構築します。
- 地域における防災意識の向上や実践的な活動を行えるよう、自主防災組織の活動の活性化を図ります。

こうもく 項目	げんじょう へいせい ねんど 現状(平成29(2017)年度)	もくひょうち へいせい ねんど 目標値(平成35(2023)年度)
すべ ひなん こうどう ようしえんしゃ かか こべつ 全ての避難行動要支援者に係る個別 しえんけいかく さくてい の支援計画の策定	しちょう 3市町 へいせい ねん がつ [平成30年6月]	しちょう 23市町

うんどう
「あいサポート運動」

さまざまな障害の特性や障害のある方が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮の仕方を理解し、日常生活で障害のある方が困っている場面を見かけたら、手助けや配慮を
実践していく「あいサポーター」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい共生社会を県民のみなさんと一緒につくっていく運動です。



「ヘルプマーク」

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、配慮や援助を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることにより、援助が得やすくなるマークです。



しんたいしょうがいしゃほじょけん
「身体障害者補助犬」

目や耳や手足に障害のある方の生活のお手伝いをする、盲導犬、聴導犬、介助犬のことです。
補助犬は特別な訓練を受け、身体障害者補助犬法に基づいて認定されており、障害のある方とともに社会参加し行動を共にすることが認められています。





ひろしまけんしょうがいしゃ
広島県障害者プラン

がいようばん
【概要版】

ひろしまけん けんこうふくしきょく しょうがいしゃしえんか
広島県 健康福祉局 障害者支援課

ひろしまけんひろしましなかくもとまち
〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52

でん わ
電 話： 082-513-3161

ファクシミリ： 082-223-3611

でんし
電子メール： fusyoushien@pref.hiroshima.lg.jp